

『昭和産業グループ 統合報告書 2023』発行のお知らせ

昭和産業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員 塚越英行）は、当社グループの価値を創造する事業の源泉や将来に向けた価値創造ストーリーについて、ステークホルダーの皆様により深くご理解いただくことを目的として「統合報告書 2023」を発行し、当社 WEB サイトにて公開しました。

（掲載 URL https://www.showa-sangyo.co.jp/ir/library/integrated_report/）

当社グループは、長期ビジョン「SHOWA Next Stage for 2025」の最終ステージとして、2023年度～2025年度を計画期間とする「中期経営計画 23-25」を策定し、本年4月よりスタートしています。「統合報告書 2023」では、計画の基本コンセプトである「SHOWAのSHIN-KA宣言」達成に向け、5つの基本戦略の内容や財務 KPI と重点施策による定量効果の項目・指標を中心に、計画の内容を分かり易くご紹介しています。また、創立以来初となる抜本的な営業組織改編についても触れるとともに、複数の穀物を扱う当社グループだからこそできる「穀物ソリューション」について、具体的な事例を交えて記載しました。

当社グループの特長や強みを分かり易く記載し、当社グループをご存知でないステークホルダーの皆様にもご理解いただける内容とするよう意識をして作成しました。今後もステークホルダーの皆様との対話を通じ、企業価値の向上に注力してまいります。

『昭和産業グループ 統合報告書 2023』の主な内容（カッコ内は主な項目）

- ・ 会長メッセージ、社長メッセージ
- ・ 価値創造ストーリー（価値創造プロセス、穀物ソリューション・カンパニーの強み、マテリアリティ 等）
- ・ 経営戦略（長期ビジョン実現へのロードマップ、中期経営計画 23-25、事業別戦略 等）
- ・ サステナビリティ、ガバナンス（TCFD 提言への対応、人的資本経営、社外取締役メッセージ 等）



<表紙>



<社長メッセージ>



<価値創造への思い>

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>
昭和産業株式会社 企画部コーポレート・コミュニケーション室
TEL：03-3257-2042 担当：赤松・塩谷